

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3ヶ所	(回答数) 1ヶ所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の特性を理解し、利用者にとって最適な支援を計画しておこなっている。	・訪問支援の際に必ず声掛けをおこない、利用者の状況を確認し、支援後は訪問先の職員と意見交換をおこなっている。	・訪問支援以外の状況も踏まえ、訪問先と事業所とが連携をしながら支援をおこなっていく必要がある。
2	・学校側と児童に関する情報交換、共有を行っている。	・支援後に担任の先生と事業所での様子や学校での様子など、些細な事でも情報交換、共有を行っている。	・担任の先生にも事業所での様子を見て頂き、共通認識を持って支援を行えるように努める。
3	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	・情報共有ツールを使用したり、送迎時に保護者様とお子様の様子について共有を図っている。	・お子様の様子について共有を図りながら、どのように支援していくかご家庭でできること等提案させていただきながら各場面で統一した支援が行えるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先との情報交換の機会が少ない。	・学校の授業時間もあり、支援後の意見交換も短時間で済んでしまっている。	・学校が長期休暇中などを利用して、訪問先が時間を取れるときに積極的に意見交換の場を設け、お互いに情報を共有できるように働きかえていく。
2	・保護者の方に訪問時の様子は伝えてはいるが、全てを共有図ることが出来ていない。	文章にて様子を伝えていることもあり、伝わりづらい場面もある。	必要に応じて面談を行ったり、電話にて共有を図る機会を多く設けられるように調整する。
3	・支援終了後には職員間で共有が行えているが、支援開始前の打ち合わせが行えていない現状がある。	特定の職員のみで関わる事が多く訪問した職員が、支援終了後に職員全体で共有を行っている。	実施者や管理者だけではなく、職員全体で事前に話し合いや利用者の情報について共有する場を設けチームで連携して支援が行えるようにする。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田
------	------------------------

公表日 R7年 2月 26日

利用児童  
数 5

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1	0	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	3	1	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	4	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	4	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	4	0	0	0		
保護者への 説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていていると思えますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	4	0	0	0		

明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	1	0	0		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	・本人は少し恥ずかしいと思うこともあるようですが、学校から聞く本人の様子と照らし合わせながら本人について知ることができ助かっています。	・学校での様子、事業所の様子を踏まえながら、課題や成長しているところを保護者にも伝えられるように、今後もおこなっていく。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R7年 2月 26日

放課後等デイサービス edu.base上荒田

利用児童数

回収数 1

チェック項目

はい

どちらとも  
いえない

いいえ

ご意見

ご意見を踏まえた対応

1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。

1

0

0

・夏休み等にゆっくり話ができる機会があればよかった。

・長期休暇に入る前に、学校側に連絡をおこない両機関が意見交換が出来るように調節を行っていき

2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。

0

1

0

3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。

1

0

0

4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。

0

1

0

5 事業所からの支援に満足していますか。

1

0

0

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

学期ごとの節目で訪問支援員と学校の先生、可能であれば保護者や本人も同席をし学期ごとの振り返りや長期休暇に向けた取り組みなど目標設定をしながら長期休暇に入れるような会議の場を設けられるようにしていきます。

支援先と学校での課題に違いがあったり、視点が異なるため、お互いに必要な情報や支援方法の確認をしてけるように努力していきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用者にあった教材を準備できている。 ・訪問先が準備しているのも以外にも事業所として準備できるものがないか検討を行っていく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・1人1職員を配置することが出来ている。 ・訪問先との日程が合わせられないことが多い。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	・訪問した職員以外の職員に対する共有が全員には出来ていなかった。 ・訪問実施後、職員共有をするための時間を確保し、訪問先での様子や現状を必ず共有をおこなったいく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・評価表を基に改善すべき点を明確にして、保護者の意向に沿った支援をおこなっている。 ・改善点を1つ1つクリアするために、職員間でも話し合いをおこなっていく。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保育所等訪問をおこなった職員と管理職で話し合いをおこない、支援に対するの取り組みを考えている。 ・実施者と管理職だけでなく、他の職員も含めて話し合いをおこなっている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・明確な第三者に評価をしてもらう必要がある。 ・保護者に対してのアンケートだけでなく、関わる全ての機関に対してもアンケートをおこない、改善点がないかを把握していく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	・積極的な研修への参加が必要。 ・関係性のある研修に参加し、考え方や支援の方法を学ぶ必要がある。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・保護者からも訪問先での様子などを聞き取りをおこない、課題を検討し、支援計画書へと反映している。 ・訪問先とも話をしながら、共通の支援意識を持てるようにする。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・訪問をした職員から現状の聞き取りをおこないながら、計画書を作成することが出来ている。 ・直接かかわらない職員も含めた上で、支援計画書を作成していく必要がある。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		<input type="radio"/>	・支援計画書の共有が出来ていない。 ・保育所等訪問を行う際に、事前にごのようなことを支援したいのかを伝えることで、共通認識を持てるようにする。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援計画書は全ての職員が閲覧することが出来ている。 ・支援計画書の修正、追加等は作成者のみで考えているので、訪問者も含めた上で作成を進めていく必要がある。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・訪問先での様子、事業所内での様子の違いを含めた上で支援計画の作成をおこなっている。 ・事業所内の様子を訪問先にも伝え、共通認識を持てるようにする。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインの具体的内容を参考にしながら、利用者の特性にあった支援計画を作成することが出来ている。 ・利用者の現状を踏まえながら、より利用者にあった支援計画が作成できるように話し合いをおこないをおこなっていく。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画に沿った支援を毎回おこなうことが出来ている。 ・限られた職員間での共有が多かったため、事業所内全ての職員と共有出来るように機会を設けていく。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	・特定の職員のみが関わることが多く、チームとして支援することが出来ていなかった。 ・支援開始前での共有があまり出来ていなかったため、今後実施の際には、支援の意図を訪問先にも伝え支援をおこなっていく。		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援後は記録として残し、当日の利用者の様子・状況を共有している。	・記録としてだけ残すことが多く、共有する機会を設けることが少なかったため、支援後に話し合いをおこなう時間を設けるようにする。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先の意向をうけとりながら、支援をおこなっていた。	・訪問先と情報共有をおこない、訪問職員が出来ることを明確にして、利用者の支援へと繋げていく。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・利用者がおこなっていたこと、課題となることを記録し、改善へと繋げている。	・記録だけで終わることもあるので、共有を徹底し、検証・改善をおこなっていく。
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・訪問支援後は記録を保護者に公開し、訪問先での様子を共有している。	・保護者との関わりはあるものの、訪問先との意見交換などがあまり出来ないで、時間を設け計画の見直しへと繋げていく。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者会議の際には、現状を把握した上で今後、どんな支援が必要なのかを話し合うことが出来ている。	・話し合った内容をどのようにして訪問先での支援に繋げていくかを考えていく。
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・学校に対してが少しずつ出来てきたが、その他の機関に関する関わりはまだ出来ていない。	・利用者に対して必要な機関との連携を強化していく。
22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・就労時の移行支援は、対象者がいない。	・今後の関わりの中で、中等部への移行支援が必要な利用者があるので、中等部への関わりも強化していく。
23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・心理士を含めた会議などをおこない、職員だけでなく専門的な目線からのアドバイスをもらいながら、支援計画をおこなっている。	・職員も専門的を身につけながら、計画をおこなっていけるようにする。
24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	・参加できていない状況があるので、情報を得ながら参加できるようにする。	・行われている会議の情報を入手しながら、積極的に参加をしていく。
25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援ごとの記録を公開するとともに、来所時には話をおこなうことで共有をはかっている。	・保護者にもわかり易い言葉で記録をおこない、自宅でもできることを提案していく。
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・記録や報告だけになっているので、研修会が行えていない。	・研修会を実施できるように職員のスキルアップをはかる
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行い、保護者にも理解を得られている。	・定期的に伝えていくことで、保護者への安心へと繋げていく
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・実施前には、訪問の意図を伝えることが出来ている。	・実施前だけでなく、それ以外の時間を設けてより詳しく話すことが必要
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・作成前にはモニタリングをおこない、保護者の要望や悩みなどを聞き、計画書へと反映している。	・保護者の意向は取り入れられるが、子どもの意向をもっと取り入れられるようにモニタリングを強化していく。
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・計画書を提示しながら、説明をおこない同意も得られている。	・更新時にはモニタリングを行い、より良い支援ができるよう検討をおこなっていく。

関係機関や保護者との連携

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
						保護者等への説明等
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	・保護者間での交流が少ない。	・定期的に保護者会などを行い、交流出来る場を設けていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・相談や申し入れがあった際には、すぐに事業所内で共有をおこない、対応することが出来ている。	・いつでも誰でもが相談に対応できるように、職員全員が対応できるようにする。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		<input type="radio"/>	・訪問先の許可を得る必要がある。	・写真や動画は対象外の子どもも映り込む可能性があるため、それ以外の方法で情報を発信する術を考える。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・外部へ情報を開示する必要があるときには、必ず事前に保護者に伝えることが出来ている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・相手のことを考えながら、相談対応がおこなえている。	・考えていることがしっかりと伝わるように研修などをおこなっていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		<input type="radio"/>	・訪問支援時以外での関わりが少なく、相談を受ける機会が少ない。	・訪問支援以外での時間に訪問先を訪れ、話ができるようにする。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		<input type="radio"/>	・時間調整が出来ずに行っていない。	・訪問先との時間調整を行いながら、定期的におこなえるように環境を整えていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		・その日のうちに記録をおこない、保護者との共有をおこなっている。	・記録だけでなく、送迎時などを使って直接話しをする時間を設ける。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・個人情報は保管場所での管理をおこなっている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		<input type="radio"/>	・訪問支援後に話をする機会がとれていない。	・訪問先の状況を確認しながら、定期的に話し合いが行えるよう調整をおこなっていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・それぞれのマニュアルを策定し、掲示が出来ている。	・非常事態に備えたマニュアルを再度確認し、目視出来る場所に掲示する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・定期的に研修・訓練をおこなっている。	・計画内容を職員全員で確認し、定期的に改善点がないか話し合いをおこなう。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・ヒヤリハットがおこったときには、振り返りをおこない防止策を考えてる事ができている。	・ヒヤリハットが起こったその日に解決出来るようにする。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・月1回の研修をおこなっている。	・事例などをもとにして、実際に職員がどのように動くべきかを確認する。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束を行う条件なども確立されており、保護者にも説明ができています。	・いつでも職員が確認できるように、ファイルに保管しておく。	